



“安心 活力 誇り” 魁のまち・水戸

# 未来への飛躍

No.1

## 市制施行130周年と 記念事業ロゴマーク

水戸市は1889(明治22)年4月、横

浜市や大阪市などとともに、日本で最初に市制を施行した31市の一つであり、2019(平成31)年、新たな元号となる本年に、市制施行130周年を迎えます。



明治23年、柵町に新築された市役所 ※市制施行当時はもとの戸長役場(現五軒町)で執務。

市民の皆さん一人一人が水戸のまちを愛し、大切に思う心を育み、そして、未来へと継承し、水戸市がより一層飛躍するための契機となるよう、この節目の年に、多彩な記念事業を展開していきます。今年はこのコラムで、市制施行130周年の記念イベントなどを紹介していきます。

### ▼記念事業ロゴマーク

市制施行130周年記念事業の周知と機運の醸成を図るため、2018(平成30)年8月27日～10月26日の約2か月間、記念事業のシンボルマークとなる、ロゴマークを募集しました。

全国35都道府県から460点の応募をいただき、これらを水戸市市制施行130周年記念事業ロゴマーク選定委員会において、審査した上で、12月に最優秀賞と優秀賞を決定しました。

最優秀賞に輝いた作品は、記念事業のロゴマークとして、市の事業だけではなく、民間団体が実施する事業や商品などへの利用ができます。

詳細は、市ホームページをご覧ください。か、お問合せください。

問合せ／政策企画課(☎350・1580)

## 水戸市市制施行130周年記念事業ロゴマーク

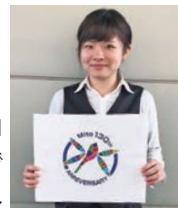


### ▼最優秀賞

友部 ひかりさん(22歳、那珂市)

### ▼作品の説明

水戸市の「水」と市の鳥「ハクセキレイ」をイメージしたシルエットがモチーフです。水戸市が日本で最初に市制を施行した31市のうちの一つであることから、シルエットを31分割しています。また、それを囲む円は、これからの飛躍を願い、みんなで力を合わせようという意を含め、水戸・茨城のイメージカラーである青で輪を描いています。



### ▼作品の講評(水戸市市制施行130周年記念事業ロゴマーク選定委員会 島田裕之委員長)

水戸の「水」と市の鳥「ハクセキレイ」が羽ばたく姿がスマートにデザイン化されています。鳥は、ハクセキレイの特徴を残しつつ、図形化された絶妙なデザインです。水戸の未来を象徴する飛翔感のイメージや鳥のシルエットの分割の意味も考慮されているなど、優れたデザイン性を持つ作品として高く評価しました。

新たな時代に進む水戸にふさわしいマークです。

### 水戸市市制施行130周年記念事業 ロゴマークの使用について

ロゴマークの使用には申請が必要です。詳細は、市ホームページから使用要項と使用マニュアルをご覧ください。

